あらかわ区議会だより



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

荒川区議会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

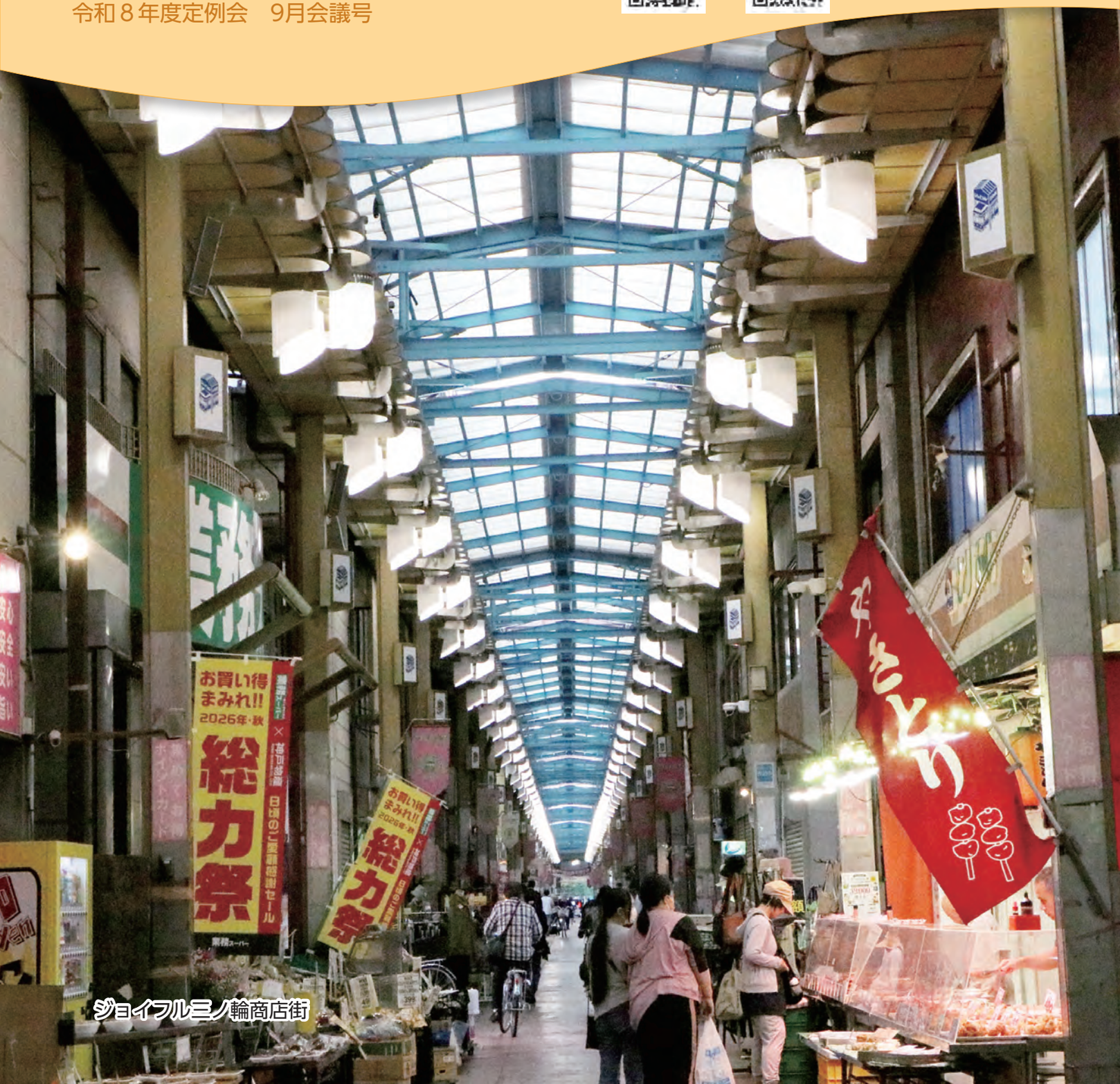
NO. 298

Arakawa City Assembly Report

令和8年（2026年）11月15日

令和８年度定例会　9月会議号

YouTube　ホームページ



ジョイフル三ノ輪商店街

令和８年度９月会議

■議員１３名による一般質問を実施
■議案３８件を可決
■令和７年度歳入歳出決算を認定


▲９月会議の様子

９月会議の１日目・２日目には、１３人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました。

９月会議では議案３８件が提出され、いずれも原案通り可決・認定されました。

また、意見書２件及び決議が可決されました。

そのうち、令和７年度歳入歳出決算に関する議案４件は、決算に関する特別委員会にて審査を行いました。

※審査の経過はＰ．１３～１４に、意見書・決議はＰ．１７に掲載

福島市長が区議会を表敬訪問

令和８年７月３１日、馬場雄基福島市長とミスピーチキャンペーンクルーが荒川区議会を表敬訪問しました。

福島市と荒川区の交流は、戦時中、荒川区民が福島市に学童疎開をしていたことがきっかけで始まりました。これまで、友好都市協定の締結や桃の販売会等の連携事業の実施、まつりへの相互参加等を通して、交流を深めています。


◀福島市長とミスピーチキャンペーンクルーの皆様と

区政のここをきく



（一般質問要旨）

＊９月１４日・１５日の本会議にて、一般質問が行われました。
＊二次元コードから一般質問の動画が視聴できます。

問＝議員からの質問　答＝区からの答弁　その他＝その他の質問項目



菅谷 元昭

（自民党）

■ 公園整備について

問

新たなシンボルとなる浄水場跡地の公園整備では、少年野球グラウンド機能の継続や高齢者のグラウンドゴルフの活動場所の確保など、これら多世代が配慮し合い、安全に利用することができるよう、柔軟な運用の実現について、区の見解を問う。

答

発災時の避難機能も考慮し、多様な使い方ができる広場を敷地の一部に設ける予定であり、整備後の管理運営についても利用する時間帯や曜日を区分するなど、誰もが利用しやすい仕組みづくりも検討していく。

問

公園における暑さ対策として、子どもや高齢者が安全に過ごすことができるよう、よしずの設置などに加え、全区的な熱中症対策として、ミスト噴霧設備の積極的な導入拡大とベンチ周辺の日陰対策の強化に取り組むべきと考えるが、見解を問う。

答

公園等によしずやミスト装置を導入したほか、宮前公園第三期等への水遊び場やミスト装置の設置も計画しており、今後も、緑陰効果を見据えた植樹やベンチの配置・パーゴラの活用など、取り組みを強化していく。

■ 災害対策について

問

災害が発生した際速やかに被災者のもとへ必要物資を届ける手段として、ドローンを使った空路による運搬を検討すべきと考える。また、すでに区内では防災船着場が整備されていることから、有事の際の河川を利用した物資等の運搬について、区の見解を問う。

答

現在３社と協定を締結しているドローンによる運搬について、実効性ある体制構築を図るとともに、河川の利用に関しても、区内３ヶ所に整備した防災船着場の具体的な運用等について、検討を進めていく。

その他

○学校給食について
○火葬場問題について

傍聴のご案内

区議会で開会される本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、会議当日に区役所本庁舎５階の議会事務局で受付の上、傍聴券を受け取ってください。

◀傍聴のご案内

区政のここをきく （一般質問要旨）



山口 幸一郎

（公明党）

■ 熊本地震や頻発する豪雨災害を踏まえた今後の災害対策について

問 浸水想定区域図や下水道の排水能力がわかる内水ハザードマップを整備し、道路冠水を防ぐ雨水桝の清掃の徹底、区民への周知・協力を進めるべきと考えるが、見解を問う。

答 現在、ハザードマップを鋭意作成しており、整備後は区民に広く周知するとともに、内水氾濫と外水氾濫の違いや、平時から取り組むべき対策等、情報発信に努めていく。

■ スマホアプリ等を活用した区民サービスの向上について

問 町会費徴収のデジタル化を調査・検討するとともに、導入経費等の支援や高齢の役員等への伴走型支援など、町会運営の持続可能性を高める取り組みを進めるべきと考えるが、見解を問う。

答 アプリの開発・運営事業者と、決済機能の追加等について意見交換を行っており、今後も町会に必要な支援を行うなど、町会活動における更なるデジタル化を推進していく。

その他 ○ガイドヘルパーの確保と移動支援の利用環境改善について



清水 啓史

（ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属））

■ 荒川区基本構想について

問 ２０４０年の荒川区の将来像を示した基本構想に「ひとがいきる　ともにつくる　あらかわ」とビジョンが掲げられた。「荒川区に住んでいてよかった」と区民が実感出来るよう、策定に込めた思いを問う。

答 区に関わる人が地域の一員として個性や強みを活かし、生き生きと活動するとともに、多様な「ひと」が繋がり、共に未来の荒川区をつくっていくという決意を反映している。

■ 路上喫煙について

問 駅を中心に路上喫煙禁止地区が６地区指定されているが、その周辺において喫煙状況が見られる。

受動喫煙の視点からも、密閉型喫煙所の設置と、公開空地等も含めた路上喫煙禁止地区の拡大及び見直しについて見解を求める。

答 今年度実施している喫煙マナー啓発の強化について効果検証を行い、路上喫煙禁止地区指定の在り方も含めて必要な対策を検討し、喫煙マナーのより一層の向上に努めていく。

その他 ○ごみ集積所・資源回収拠点における不適正排出について



横山 幸次

（共産党）

■ 区の防災対策、防災街づくりについて

問

感震ブレーカーと家具転倒落下防止は１００パーセントを目標に、高齢者や障害者等世帯を中心にアウトリーチで設置を促進するとともに、木造密集地域を最優先にした全戸設置に向けた計画の策定を求める。

答

令和７年４月から、木造密集地域の木造住宅の補助率を大幅に引き上げるなど、木密地域を優先した取り組みや働きかけを強化しており、これらに加え、木造密集地域における助成制度等拡充の検討を進める。

問

住宅の低コスト耐震改修工法は、都も補助メニューに入れており、その普及には地元の建設事業者の協力が必要となり、区内の仕事興しと区内建設業の育成にも繋がるため、区内建設関連事業者と協力して、本工法の導入を進めることを求める。

答

令和８年３月に改定した荒川区耐震改修促進計画において、新たに「安価で工期の短い耐震改修工法（低コスト工法）」の普及・啓発を掲げており、木造耐震化推進事業の助成対象であるため、今後も関係団体と連携して普及を図っていく。

■ 区財政と公共施設等総合管理計画の抜本的見直しについて

問

今後の行財政運営にあたっては、暮らしと営業を守る施策を最優先にしつつ、公共施設更新の在り方の優先順位を明確にすること。更新にあたっては小中学校、区民施設を最優先にした計画にすることを求める。

答

区では、公共施設等総合管理計画の改定を進めており、施設の建替えや更新にあたっては、学校を含め、区民に直接関わる施設に優先的に対応する方針で、全体の調整を進めているところである。

その他

○全ての子どもの健やかな成長のために
○ケアの力を強め、住み続けることのできる地域社会を
○平和行政をさらに前に

会議の音声配信

本会議及び委員会の音声をYouTubeで配信しています。

会議当日にライブ配信を行うほか、荒川区議会YouTubeチャンネルから過去の映像や音声が視聴できます。

※区議会ホームページからもご視聴いただけます。

◀音声配信

区政のここをきく（一般質問要旨）



久家 しげる

（立憲民主党）

■ 荒川区の指定管理者制度について

問 導入から２０年以上が経過した指定管理者制度について、これまでの評価・認識を問うとともに、今般の不祥事を踏まえた再発防止策や、今後の指定管理者制度に対する区の方向性と理由について、見解を問う。

答 実績評価におけるチェックの仕組みの充実や、施設職員との信頼関係を築きながら、指定管理者制度を適切に活用し、サービス向上と効率的運営が図られるよう取り組む。

■ 公園整備と河川の活用について

問 隅田川沿いの各大規模公園のコンセプトや、公園整備の進め方について区の認識を問う。また、地域住民の意見を取り入れるとともに、公園整備を進めるにあたり、新たに船着場を整備することを求める。

答 公園整備にあたっては、区民の意見を幅広く伺い、より良い計画となるよう検討する。船着場設置の可能性については都と協議し、隅田川の活用について調査・研究を進める。

その他
○多文化共生地域社会の実現に向けて
○「荒川区花と緑の基本計画」の改定について



山田 晴美

（あらかわ子育ての会）

■ ラングウッド地下２階の今後について

問 ラングウッド地下２階を今後、どのように活用していこうと計画しているか。子どもの室内遊び場としての活用可能性や専門家からのアドバイスの是非について見解を問う。

答 施設特性や費用対効果も踏まえ、あらゆる活用可能性について検討を進める。子どもの室内遊び場としての活用は、施設面や運営面において課題が多く、困難と考えている。

■ 子ども達の更なる身体機能・体力向上について

問 子どもたちの身体機能の向上、体力の向上について、有事の際を想定した身体機能の使い方など、「生きる力」という観点からも本気で取り入れる必要があると考えるが、区の見解を問う。

答 災害等の緊急時において、状況に応じた判断ができる力を高め、安全に自らの生命を守る行動が取れるよう、日頃から子どもたちの体力及び生き抜く力の向上に努めていく。

その他
○クラス運営、学び合い授業の推進について



若林 由季

（自民党）

■ つくばエクスプレス延伸を契機とした南千住駅周辺の将来像について

問 つくばエクスプレス（ＴＸ）東京駅延伸・臨海地域地下鉄との接続を要望だけで終わらせず、区にもたらす効果をどのように認識し、今後の南千住をはじめとする街づくりに、どう繋げていくのか、見解を問う。

答 鉄道利用者が行き来しやすい動線確保や、一体感ある駅前空間創出等について、ＪＲと協議を始めており、安全性や回遊性等を踏まえ、各鉄道事業者と連携を図り、駅前の賑わいの創出等について、検討する。

問 ＴＸの延伸を見据え、南千住駅の新たな改札口設置の可能性をＪＲと協議を進めるとともに、中道区道を単なる通過道路にするのではなく、歩きたくなる道として、新たな賑わいや交流を生み出す空間へとすることを要望するが、区の見解を問う。

答 北口改札の新設は難しいと回答を得ている一方、駅構内から中道区道沿道店舗の北側への改札増設は、今後、ＪＲと協議を行う。また、中道区道が再整備によりウォーカブルな空間となり、駅周辺の魅力向上につながるよう、検討を進めていく。

■ 視覚・聴覚障がい者支援の視点を取り入れた地域防災人材の育成について

問 中学校防災部等の活動に、視覚・聴覚障がい者への声かけや誘導を体験するプログラムを導入するとともに、当事者の声を直接聞きながら学ぶ機会を設け、「支援できる人を育てる防災」を進めることを求める。

答 中学校防災部の活動で、視覚・聴覚障がい者の方々への接し方を学ぶことは、活動の重要な方針の一つになるものであり、人に、地域に優しい、頼れる防災ジュニアリーダーの育成に向け、取り組みを進める。

その他

○学校プールにおける暑さ対策と教育環境の整備について

○成年後見制度の法改正を見据えた支援体制の構築について

会議の字幕配信

本会議は字幕配信も行っています。

会議当日、区議会ホームページからご覧いただけます。

傍聴席で利用される場合は、専用のタブレット端末を貸し出します。利用を希望される方は、傍聴受付の際にお申し出ください。

◀字幕配信

区政のここをきく（一般質問要旨）



松田 智子

（公明党）

■ 成年後見制度について

問 成年後見人等が安心してその役割を担える環境を整えるためにも、予算の増額とともに、具体的でわかりやすい資産要件を設定し、助成制度が不交付になることのない制度にすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 一律の資産要件の設定には、個々の生活状況や区民間の公平性を考慮し、慎重に検討する必要がある。法改正を踏まえ、助成要件を検討し、窓口や制度の周知を徹底する。

■ 介護従事者の働き方について

問 訪問介護、在宅ケア従事者の安全確保やカスタマー・ハラスメントに対する相談体制の充実、警察機関との連携、２人訪問などの安全確保に対する支援など、介護事業所を支える体制整備について、見解を問う。

答 介護サービス事業所がハラスメントに関する理解を深め、発生時に適切に対応できるよう、研修や情報発信、関係機関との連携等を通じて、介護に従事する方々が安心して働ける環境づくりに取り組んでいく。

その他 ○西日暮里駅前再開発地域について



竹内 明浩

（ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属））

■ ガスヒートポンプ空調の導入と災害関連死を防ぐ避難所機能強化

問 学校施設を地域防災拠点に位置付け、電源自立型ガスヒートポンプの導入を含めたエネルギーの複線化と災害関連死を防ぐ避難所機能の強化を計画的に進めることを要望する。

答 ガスヒートポンプ式空調設備は、様々なメリットがある一方、費用等の課題もある。避難所の快適な温熱環境は、災害関連死を防ぐため、導入事例も研究し、検討を進める。

■ 排泄予測支援機器（DFree）の日常生活用具への認定について

問 障がいのある方の自立と社会参加、家族・介護者の負担軽減を図るため、排泄予測支援機器を日常生活用具給付等事業の排泄管理支援用具の対象品目として認定することを求める。

答 現在排泄予測支援機器は、障がい分野では区の給付対象品目に含めていないが、先行自治体における導入効果等の調査・分析を踏まえ、給付要件等について検討していく。

その他 ○東京都立大学荒川キャンパスとの災害協定を活かした地域防災力の更なる強化について



夏目 亜季

（自民党）

■ シティプロモーションの戦略化について

問

荒川区シティプロモーション基本方針を策定する今だからこそ、荒川区らしさを具体的に言語化し、ターゲットごとに情報の届け方を変えるマーケティングの視点を取り入れるとともに、参加人数や閲覧回数というアウトプットだけではなく、区民や区を訪れた方の意識や行動がどう変化したかというアウトカムまで評価する仕組みを導入するほか、地域を担う人の力を高めることを成果として位置付ける。新たな基本方針において何を実現し、どのような区を目指すのか、見解を問う。

答

基本方針の策定にあたり、区ならではの強みを具体化し、全庁で共有できるよう検討を重ねるとともに、マーケティングの視点を取り入れた戦略的な発信を行えるよう、庁内にプロジェクトチームを設置し、専門家の意見も伺いながら検討を進めていく。区民の区への愛着度や誰かに勧めたいという推奨意欲などを評価指標として方針に位置付け、成果検証に努める。職員一人ひとりが区ならではの街の良さを一層引き出し、全庁を挙げて「選ばれる荒川区」の実現に取り組んでいく。

■ 緊急避妊薬の薬局販売と地域連携について

問

緊急避妊薬の薬局販売に伴う、区内薬局と区関係機関との地域連携体制の構築や、性暴力等が疑われるケースにおける薬剤師向けの実践的な初期対応について、また、緊急避妊薬の購入者に対する情報提供について、見解を問う。

答

緊急避妊薬の購入機会を若者や女性へのプレコンセプションケアや支援提供の接点と捉え、薬局を地域支援の重要な拠点と位置づけているため、今後も連携を深め、多面的な支援体制の強化を図っていく。

その他

○ＳＮＳ時代の科学・ヘルスリテラシーについて

会議録の閲覧

○インターネットで閲覧

「荒川区議会会議録検索システム」から過去の本会議及び委員会の会議録や会議資料をご覧いただけます。

○区の施設で閲覧

ゆいの森あらかわ等の区立図書館、区役所地下１階の情報提供コーナーで紙の会議録が閲覧いただけます。

◀会議録検索システム

区政のここをきく（一般質問要旨）



北村 綾子

（共産党）

■ 急加速する気候変動に本気の対策を

問 区内で行われるイベントにおいて環境に配慮して実施することはイベントの魅力となり、啓発にも繋がる。区内のイベントでＣＯ２削減の協力を主催者に求め、また、区が支援することについて、見解を問う。

答 区主催イベントや区内イベント主催者に対し、環境負荷低減の取り組みへの協力を働きかけるとともに、主催者が環境配慮型のイベントを実施しやすい環境づくりに努める。

■ スポーツ・文化・芸術分野で活躍する方々への支援充実について

問 スポーツ分野での大会参加補助や活動支援補助に準じて、文化・芸術分野においてもコンクール出場や展覧会の出展に対して同様の支援を行うべきと考えるが、見解を問う。

答 芸術・文化の分野で大会出場する際の補助金支給は、ジャンルによっては補助要件を明確に定めることが難しいという課題もあるため、先行事例等の調査・研究を行っていく。

その他
○従業員賃金引き上げを行う中小事業者に対する区の直接的な支援実施について



山本 剛

（ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属））

■ ＡＩ教育の導入に対する区の方針

問 学校指導要領の改定で生成ＡＩが加わることは、従来の「学力重視」または「個性重視」としていた教育行政が新たな局面を迎える重要な分岐点となるが、ＡＩ教育の導入と今後の進め方について、見解を問う。

答 令和７年度から文部科学省の教育課程特例校の制度を利用した情報科を汐入小学校に設置しており、今後は区内の複数校へ取り組みを拡大することも含めて検討を進める。

■ 西日暮里鉄道踏切の遮断時間短縮と安全対策について

問 踏切での安全性を確保するため、列車の速度に応じて遮断機が最短で開閉するよう、踏切対策基本方針に基づいてＪＲに改善を求めるなど対応すべきと考えるが、認識を問う。

答 ＪＲ南武線などで導入されている「賢い踏切」が貨物線の踏切においても導入されることとなれば、事故防止や災害時の安全安心に繋がるため、ＪＲに要望していく。

その他
○増税によらないたばこ税収上振れの可能性と税収確保の意気込みについて
○不動産税制や賃料がファミリー層に与える影響を踏まえ、学校整備への区の考え
○災害時でも水が途切れない強靭な水道ネットワークの構築について



花澤 昭信

（ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属））

■ 人的資本経営の視点を取り入れた人材戦略について

問 経営戦略と人材戦略を連動させ、現在の職員数を起点とした定数管理だけではなく、区政として実現すべき目標を起点とした人材戦略を構築するべきと考えるが、見解を問う。

答 基本構想や行政運営計画等に掲げるビジョンや施策とそれを担う人材を一体的に捉え、必要となる人材や能力を明らかにした上で、計画的な人材マネジメントを推進していく。

■ 事業廃止が評価される文化の醸成と仕組みについて

問 今後の基本構想・行政運営計画の策定に合わせて、「何を廃止したのか」だけでなく「なぜ廃止し、何を生み出し、どこへ再投資したのか」までを一連の行政評価として可視化する仕組みを構築すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 新たな行政評価の仕組みの中で、課題や目指す方向性に基づき、選択と集中を繰り返し、行政サービスの維持と区民ニーズに対応した事業の実施や行政課題の解決に取り組む。

その他 ○新公会計制度の運用状況について



会派名称の変更

令和８年８月２１日付で会派名称の変更がありました。

（新）あらかわ子育ての会　　（旧）維新・子育ての会

委員会活動の報告　常任委員会

議会運営委員会
菅谷元昭 委員長

7月29日～30日
◆行政視察（大竹市、岩国市）

8月31日
◆9月会議について

9月14日
◆9月会議について
◆行政視察の集約について

10月2日
◆9月会議について

10月14日
◆9月会議の最終日について
◆今後の議会日程について
◆荒川区議会の個人情報の保護に関する条例の改正について

議会日程のご案内

区議会ホームページから、開会予定の本会議や委員会の開会日時をご覧いただけます。

日程は決まり次第順次更新しています。

◀議会日程のご案内
（区議会ホームページ）

総務企画委員会
茂木　弘 委員長

7月14日
◆区内視察（アートホテル日暮里ラングウッド）

9月1日
◆提出予定案件について
◆所管事務事業説明
◆行政視察について

9月16日
◆付託された議案について

10月7日
◆付託された議案について

文教・子育て支援委員会
鎌田理光 委員長

7月15日
◆所管事務事業説明

8月5日～6日
◆行政視察（下田臨海学園、下田市）

9月3日
◆提出予定案件について
◆所管事務事業説明
◆行政視察について

9月17日
◆付託された議案について
◆委員会付託事項

特別委員会

福祉・区民生活委員会
松田智子 委員長

7月14日
◆所管事務事業説明

9月1日
◆提出予定案件について
◆所管事務事業説明
◆行政視察について

9月16日
◆付託された議案について
◆委員会付託事項

産業・まちづくり委員会
宮本舜馬 委員長

7月15日
◆区外視察（富津市）

9月3日
◆提出予定案件について
◆所管事務事業説明

9月17日
◆付託された議案について
◆所管事務事業説明
◆委員会付託事項
◆行政視察の集約について
◆行政視察について

震災・災害対策調査特別委員会
夏目亜季 委員長

7月28日
◆調査研究事項

観光・シティプロモーション調査特別委員会
菊地秀信 委員長

7月23日～24日
◆行政視察（伊賀市）

8月27日
◆講演会

財政援助団体調査特別委員会
斎藤泰紀 委員長

7月14日
◆区内視察（荒川区シルバー人材センター
荒川区社会福祉協議会　他）

8月27日～28日
◆行政視察（近江八幡市、大津市）

花と緑推進調査特別委員会
清水啓史 委員長

7月21日～22日
◆行政視察（吹田市、守口市、和泉市）

7月28日
◆区内視察（荒川バラの会の活動状況）
◆調査研究事項

9月2日
◆調査研究事項
◆区外視察（江戸川区）

決算に関する特別委員会で令和７年度決算を認定

令和７年度一般会計歳入歳出決算ほか３特別会計歳入歳出決算については、監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会（委員長＝明戸真弓美、副委員長＝山本剛）を設置しました。９月２４日から審査を行い、いずれも委員会において認定することに決定しました。



◀決算に関する特別委員会の進行の様子

並木議長（左）　明戸委員長（中央）　山本副委員長（右）

令和７年度　決算の概要

		予算現額	決算額		歳入歳出差引残高
			歳入（収入率）	歳出（執行率）	
一般会計		1,466億7,730万5,000円	1,373億35万9,819円 93.6%	1,340億5,666万1,200円 91.4%	32億4,369万8,619円
特別会計	国民健康保険事業	233億7,205万6,000円	226億3,520万5,656円 96.8%	221億4,663万8,696円 94.8%	4億8,856万6,960円
	後期高齢者医療	57億2,700万円	58億3,169万2,371円 101.8%	56億7,840万4,706円 99.2%	1億5,328万7,665円
	介護保険事業	209億1,311万2,000円	203億6,280万8,178円 97.4%	194億3,780万7,657円 92.9%	9億2,500万521円

監査委員による決算審査の報告

令和７年度決算審査は、関係諸帳簿や証拠書類との照合を行うとともに、関係職員から説明を聴取するなどの方法により実施し、その結果、決算計数に誤りはなく、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められました。また、財政健全化法による、令和７年度決算に基づく健全化判断比率についても、審査の結果、適正である旨の意見を付し、区長に提出しました。

令和７年度予算は、予算計上した施策を着実に実行するとともに、これまで以上に効果的・効率的な執行に努め、常に問題意識を持って取り組むことが重要という認識の下で執行されました。

こうした中、区は基金残高を減らすことなく、健全で持続可能な財政基盤を堅持していくための取り組みに努められたものと考えられます。

その結果、実質収支は黒字、基金残高は前年度を超える額となるなど、財政運営は健全であると評価できます。しかし、区の財政環境は依然として予断を許しません。小中学校の建替え等の大規模な財政需要が控えるなか、今後の需要急増に向けた財政的備えも不可欠です。行政改革の推進等による歳出の抑制や特別区民税の収入率向上などの取り組みを推進していく必要があります。

そのため、財政フレームを踏まえ、社会情勢を注視し、財政需要を適切に把握していくことが重要です。さらに、行政評価における事務事業の廃止を含めた事業の見直しや新たな財源確保など、持続可能な行財政運営とサンセット方式の徹底に努め、歳入歳出の両面から健全な財政運営に向けて前進されることを期待し、報告といたします。

委員会での審査経過

９月２４日
◆一般会計歳入歳出決算
〇監査委員意見（斎藤泰紀監査委員）等、書面配付
〇総括質疑（６会派）
※主な質問項目は下記参照
〇歳出審査（議会費・総務費）
９月２８日
〇歳出審査（総務費）
９月２９日
〇歳出審査（総務費・民生費）
１０月１日
〇歳出審査（民生費）
１０月２日
〇歳出審査（民生費・衛生費・環境清掃費）
１０月５日
〇歳出審査（環境清掃費・産業経済費・土木費・教育費）
１０月７日
〇歳出審査（教育費・公債費・諸支出金・予備費）
〇歳入審査（一括審査）
〇採決　採決の結果
認定することに決定
◆国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
◆後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
◆介護保険事業特別会計歳入歳出決算
〇審査
〇採決　採決の結果
認定することに決定

主な総括質疑

自民党
北城　貞治 委員
〇財政フレームに基づいた健全な財政運営について
〇障がい者福祉対策について

共産党
斉藤　邦子 委員
〇介護保険について
〇職員数の変遷、公務員の大切さについて

ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属）
宮本　舜馬 委員
〇路上喫煙の過料設定について
〇外国人の生活ルールへの対応について

立憲民主党
鬼頭　あきゆき 委員
〇デジタル版プレミアム付き荒川区内共通お買い物券事業について

公明党
森本　達夫 委員
〇防災について
〇高齢者等の住宅確保要配慮者に対する居住支援の強化について

あらかわ子育ての会
山田　晴美 委員
〇高齢者のフレイル予防（ｅスポーツの展開）について

※総括質疑の模様は荒川区議会ホームページでも映像公開中です。
（※各二次元コードから視聴できます）

令和７年度決算をこう評価する

１０月１４日の本会議において、令和７年度一般会計歳入歳出決算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

提案を区政運営に反映し、一つでも多くの事項について具現化することを要望し、賛成

自　民　党

賛成

令和７年度の一般会計予算の編成にあたり自民党荒川区議会議員団の要望に真摯に応えるとともに、緊急要望への迅速な対応を感謝する。

決算審査にあたっては、基礎自治体として区民ニーズに応え、住民の福祉向上を図る施策が展開されたかという視点で、質疑を行った。

区政全般に関わる問題として、財政フレームにおける歳入の見通しと歳出増大に対する認識、小中学校の建替えや本庁舎整備のための財源、財政指標をもとにした財源の検討など、様々な確認を行った。本庁舎整備を延期した場合の案が示されたが、単に先送りをするのではなく、計画的に基金を積み立て、区民サービスに影響がないと判断できる場合は前倒しするなど、適切な計画の提示を求める。



▲小中学校の建替えや本庁舎の整備

防災対策の分野では、熊本地震の発生を受け、改めて首都直下地震への備えが必要との判断から、感震ブレーカーや家具転倒防止装置の配置促進など、防災・減災などについて確認、提案を行った。あらゆる事態を想定し、できうる対策全てを行うよう求める。

健康・福祉の分野では、高齢者や障がい者が地域で活き活きと暮らしていくための取り組みとして、基金の活用による介護保険料の抑制などについて確認・提案を行った。区民ニーズに沿った、きめ細かな実効性ある支援を求める。

環境の分野では、集団回収においては、町会の見えない努力があることから、食品用プラスチックトレーの排出に係る普及啓発などについて確認、提案を行った。ごみの適正な排出に向けた一層の普及啓発を要望する。

まちづくりの分野では、水害に備える視点から、道路の排水能力やアンダーパス冠水時の対応などについて、また、再開発事業においては、マンションの転売対策や文化交流施設の整備などについて確認、提案を行った。区民の生命と財産を守る、更なる対策を求める。

教育の分野では、第一に考えるべきは学校建替えによる教育環境の整備であり、学校施設の適切な改修や建替えに伴う公共施設との複合化、紙の教科書を基本としたデジタル教材活用の効果検証などについて確認、提案を行った。建替えにあたってコスト縮減を図り、公共施設の売却による歳入確保や施設の複合化などを検討し、計画的に進めることを要望する。

これら以外にも、産業・観光の分野ではマル経融資の利子補給の実績、文化・スポーツの分野ではサンパール荒川や町屋文化センターの運営、区政効率化の観点からは生成ＡＩの活用状況などについても取り上げた。

いずれも重要な事項であり、趣旨を十分に踏まえ、今後の区政運営に反映するとともに、一つでも多くの事項について具現化することを強く要望し、本決算の認定に賛成の討論とする。



◀水害に備えたまちづくり

政策の実現に向けて力強く取り組むことを期待し、賛成

公　明　党

賛成

令和７年度は長引く物価高騰により、区民生活や事業者を取り巻く環境は依然厳しい状況にあった。今後、多額の財政需要が見込まれ、財政の健全性を維持しながらも必要な施策には投資することが重要である。決算審査では、大きく三つの視点から質疑、提案を行った。

第一の、区民の命を守り、地域の未来をつくるまちづくりでは、「防災を文化に」という視点を大切にし、知見を活用した空き家対策や発災後の生活まで見据えた支援体制を求めた。

第二の、誰も取り残さず、必要な支援を必要なときに届けることでは、制度だけでなく、区民一人ひとりの生活に届く支援を求めた。

第三の、持続可能な財政運営では、歳出の見直しに加え、歳入を生み出す視点からも提案を行い、経営的な視点の財政運営を求めた。

必要なサービスは所得によって線を引くことなく広く保障するというのが、公明党荒川区議会議員団が掲げる考え方であり、都補助の実施で軽減された財源を私立学校等に通う子どもたちの給食費相当額の支援に振り向けることを要望する。

政策の実現に向けて力強く取り組むことを期待し、本決算の認定に賛成の討論とする。



◀給食費相当額の支援

将来にわたり持続可能で、区民の期待に応える区政運営を求め、賛成

ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属）

賛成

本決算では、経済情勢等による増収に加え、区の徴収努力が歳入確保につながったことを評価する。決算審査では、事業実績や効果を確認し、今後の充実に向けた質疑と要望を行った。

福祉・子育て分野では、高齢者の外出や交流の機会を介護予防につなげる取り組み、５歳児健診未受診者への対応、学童クラブや公園の利用環境改善について求めた。災害対策では、あらかわ防災リーダー制度や中高生等の防災士資格取得支援、町会・自治会と連携した活動の充実、学校建替えに際してのガスヒートポンプ空調の導入検討や風水害時の避難対応について取り上げた。また、行政のデジタル化やあらかわ遊園の利用機会拡大と収支改善の工夫、事業承継や創業者支援、路上喫煙や客引き対策、外国籍住民への生活ルールの周知、雑がみ分別回収への取り組み強化、荒川７丁目民有地跡地開発における周辺住民への説明と安全確保など、幅広い分野にわたり質した。

区民生活の向上に向けた各種の施策展開や、区政運営全般における成果を総合的に評価するとともに、審査を通じて明らかになった成果と課題を次年度予算に活かし、将来にわたり持続可能で、区民の期待に応える区政運営を求め、本決算の認定に賛成の討論とする。



◀路上喫煙の対策

区の姿勢の根本的な転換と更なる区政の前進を求め、反対

共　産　党

反対

区民のくらしと営業を守る役割が問われるなか、物価高騰対策に区独自の支援がなかったことは残念である。基金の予算額の２倍以上の積み増しには、年度内の活用、精査を求める。

就学援助の認定基準の引き上げ、奨学金の返済支援、心身障害者福祉手当の拡大、低所得者への夏季電気代の補助、中小企業への賃上げ支援など経済的支援を求める。子育て世帯も高齢者も住宅確保が難しいなか、夏の高温、大雨被害も深刻であり、住まい確保、屋内安全対策の拡充、気候変動対策など、住み続けられるまちづくりに転換すべきである。人権を守る取り組みは不十分であり、外国籍の方々が地域でともに生きるための具体策などを求める。保育や教育の現場で子どもと職員が向き合えるための増員や環境整備も不十分であり、小中学校の建替え計画では、子どもにとっての最善に力を尽くし、公共施設整備では、学校や特養ホームを最優先に、本庁舎建替えの過大な基金積立は再検討を求める。また、がん検診の有料化は見直すべきである。

民間委託・職員の非正規化路線を切り替え、区の姿勢の根本的な転換と更なる区政の前進を求め、本決算の認定に反対の討論とする。



◀保育現場での職員の増員

意見書提出

9月会議では2件の意見書を提出しました

◀意見書・決議の本文はこちらから

◆介護保険制度の持続可能性確保と負担軽減のための国庫負担割合の拡充を求める意見書
（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官あて）

◆国際刑事裁判所（ICC）への制裁に異議を唱えることを求める意見書提出
（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、内閣官房長官あて）

決議

9月会議で以下の決議が可決されました

◆ロシア・プーチン大統領の北方領土訪問に抗議する決議

ロシア・プーチン大統領は２０２６年８月１３日、自身としては初めて北方領土の択捉島を訪問した。北方領土は歴史的にみても、一度も外国の領土になったことがない我が国固有の領土である。また、国際的諸取決めからみても、我が国に帰属すべき領土であることは疑う余地がなく、今般の訪問は断じて許容できるものではない。

荒川区議会は、平成２２年１２月、当時のロシア大統領による国後島訪問に対し、国会及び政府に対し厳重に抗議することを求める旨の意見書を提出しており、今般のプーチン大統領の北方領土訪問に対しても、断固として抗議する。

以上、決議する。

令和８年１０月１４日

荒川区議会

議案の審議結果

令和８年度定例会・９月会議
○賛成　×反対　太字は討論のあったことを示す

◀各議案の概要はこちらから
（区議会ＨＰ）

議案名・議案の説明	会派名・結果（数字は会派人数）		自民党 11	公明党 6	ゆいの会 6	共産党 5	立憲民主党 2	あらかわ子育ての会 1	結果
議員提出議案（３件）									
介護保険制度の持続可能性確保と負担軽減のための国庫負担割合の拡充を求める意見書提出について	意見書の詳細はＰ17参照		○	○	○	○	○	○	可決
国際刑事裁判所（ICC）への制裁に異議を唱えることを求める意見書提出について			○	○	○	○	○	○	可決
ロシア・プーチン大統領の北方領土訪問に抗議する決議について	決議の詳細はＰ17参照		○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案（35件）									
あらかわ未来へつなぐ子ども基金条例	子どもの成長の支援に活用するための基金の設置		○	○	○	○	○	○	可決
令和８年度荒川区一般会計補正予算（第3回）	基金積立金ほか　補正額　3,356,869千円		○	○	○	○	○	○	可決
令和８年度荒川区一般会計補正予算（第４回）	エコ助成事業　補正額　147,344千円		○	○	○	○	○	○	可決
令和８年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算（第１回）	決算確定に基づく精算処理	補正額　488,566千円	○	○	○	○	○	○	可決
令和８年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算（第１回）		補正額　944,433千円	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区景観条例の一部を改正する条例	法改正に伴い規定を整備		○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立保育所条例の一部を改正する条例	荒川区立南千住七丁目保育園を廃止し、保育園の土地、建物を無償で貸付け		○	○	○	×	○	○	可決
財産の貸付けについて			○	○	○	×	○	○	可決
財産の取得（備蓄用生活用品）	船山（株）	契約金額　33,576千円	○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得（備蓄用食品）	（福）東京コロニー	契約金額　109,153千円	○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得（児童生徒用机及び椅子）	三岡商事（株）	契約金額　24,787千円	○	○	○	○	○	○	可決
宮前公園第三期整備区域第1工区外工事請負契約	北部・岩田・後藤建設共同企業体	契約金額　1,230,900千円	○	○	○	○	○	○	可決
宮前公園第三期整備区域施設建築工事請負契約	東・工藤建設共同企業体	契約金額　1,556,500千円	○	○	○	○	○	○	可決
旧南千住浄水場敷地内施設撤去工事請負契約	（株）河野解体工業東京営業所	契約金額　473,938千円	○	○	○	○	○	○	可決
南千住図書館・荒川ふるさと文化館大規模改修工事請負契約	三芳・東建設共同企業体	契約金額　2,508,000千円	○	○	○	○	○	○	可決
南千住図書館・荒川ふるさと文化館大規模電気設備改修工事請負契約	日電・東進・東京建設共同企業体	契約金額　709,170千円	○	○	○	○	○	○	可決
南千住図書館・荒川ふるさと文化館大規模機械設備改修工事請負契約	アペック・田畑建設共同企業体	契約金額　1,179,273千円	○	○	○	○	○	○	可決
荒川ふるさと文化館展示製作業務委託契約	（株）丹青社	契約金額　910,800千円	○	○	○	○	○	○	可決
汐入ふれあい館	指定管理者の指定 （指定期間） 令和9年4月1日～ 令和14年3月31日	（福）雲柱社	○	○	○	○	○	○	可決
峡田ふれあい館		シダックス大新東ヒューマンサービス（株）	○	○	○	○	○	○	可決
東尾久本町通りふれあい館			○	○	○	○	○	○	可決
東日暮里ふれあい館		（学）道灌山学園	○	○	○	○	○	○	可決
ひぐらしふれあい館		（株）マミー・インターナショナル	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川		（福）聖風会	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立特別養護老人ホームサンハイム荒川		（福）奉優会	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川			○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立南千住中部在宅高齢者通所SC			○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者通所SC			○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立荒川生活実習所		（福）荒川区社会福祉協議会	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立荒川福祉作業所			○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	推薦する者　田中秀樹氏		○	○	○	○	○	○	適当との意見
令和７年度 荒川区一般会計歳入歳出決算	歳入　137,300,359,819円 歳出　134,056,661,200円		**○**	**○**	**○**	×	○	○	認定
令和７年度 荒川区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	歳入　22,635,205,656円 歳出　22,146,638,696円		○	○	○	×	○	○	認定
令和７年度 荒川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	歳入　5,831,692,371円 歳出　5,678,404,706円		○	○	○	×	○	○	認定
令和７年度 荒川区介護保険事業特別会計歳入歳出決算	歳入　20,362,808,178円 歳出　19,437,807,657円		○	○	○	×	○	○	認定

全国の議会が視察に訪れています



７月９日～１０月１４日の間に、１２団体が行政視察で来訪されました。
ありがとうございました。

日　程	視察受入議会名	主な視察項目
７月　９日	福岡県福岡市議会	AIカメラシステムと防災ネットワークカメラについて
７月１４日	岩手県盛岡市議会	ゆいの森あらかわについて
７月１５日	宮崎県宮崎市議会	荒川区民総幸福度（GAH）について
７月２２日	三重県四日市市議会	ゆいの森あらかわについて
７月２８日	山口県宇部市議会	中学校防災部の取り組みについて
７月２９日	岐阜県多治見市議会	子どもの居場所づくり地域支援強化事業について
７月３１日	岡山県真庭市議会	中学校防災部の取り組みについて
８月　３日	鹿児島県日置市議会	中学校防災部の取り組みについて
９月２８日	愛知県蒲郡市議会	中学校防災部の取り組みについて
１０月１３日	宮崎県宮崎市議会	高齢者の見守り事業について
１０月１３日	群馬県高崎市議会	児童相談所の概要について
１０月１４日	愛媛県今治市議会	ゆいの森あらかわについて

子ども議会が開催



▲子ども議会の様子

令和８年８月２５日、荒川区議会議場で「子ども議会」が開催されました。

「子ども議会」は、「荒川区子どもの権利条例」の制定を契機として、子どもの意見を区の施策に反映させ、子どもの権利を保障し、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的としたものです。

区立中学校１０校から各２名の生徒が子ども議員として選出され、議場で質疑を行い、区の所管課長が各質問に対して答弁しました。

１１月会議は１１月２０日（金）からの開会を予定しています。

〒116-8501　東京都荒川区荒川２－２－３
TEL 03-3802-3111（代表）　ホームページアドレス https://www.city.arakawa.tokyo.jp/gikaisenkyo/kugikai/kugikai.html
編集・発行／荒川区議会　　メールアドレス kugikai@city.arakawa.lg.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。